

令和2年度改定版 前橋市産業振興ビジョン
各施策の進捗状況

令和2年度改定版前橋市産業振興ビジョン目標数値

戦略 1 既存産業の総合的・実効的支援

指標	ビジョン策定時	直近の状況 (R3.2)	目標数値
①各種支援による就労者数(ジョブセンター利用者の就労者数)	702人/年(H30)	451人	700人/年
②製造業の粗付加価値額	1,935億円(H30)	1,935億円(H30)	2,100億円(R6)
③製造業の製造品出荷額等	5,569億円(H30)	5,569億円(H30)	5,700億円(R6)

戦略 2 各種支援機関等との連携による新製品・新技術の創出

指標	ビジョン策定時	直近の状況 (R3.2)	目標数値
①新製品の開発支援件数	46件(H29～R1.12)	45件(H29～R1)	33件(年間)
②製造業の粗付加価値額	1,935億円(H30)	1,935億円(H30)	2,100億円(R6)

戦略 3 前橋にマッチした企業立地の促進

指標	ビジョン策定時	直近の状況 (R3.2)	目標数値
①産業適地等への企業立地件数	11件(H29～R1.12)	1件	15件(R2～6)
②産業適地等への企業立地面積	12.3ha(H29～R1.12)	0.5ha	20ha(R2～6)
②産業用地の確保	—	調整を進めている	産業用地の確保

戦略 4 起業家の創出と人材育成

指標	ビジョン策定時	直近の状況 (R3.2)	目標数値
①前橋市創業支援事業等による創業者数	87人(H30)	110人(R1)	122人(R6)
②前橋市創業センター利用者数	1,491人(H30)	1,793人(R1)	2,000人(R6)

■ 女性活躍推進計画

指標	ビジョン策定時	直近の状況 (R3.2)	目標数値
①女性の有業率(生産年齢人口15～64歳)	67.2%(H29)	67.2%(H29年度)	68.9%(R6)
②女性の正規職員・従業員の割合	41.1%(H29)	43.3%(H29年度)	43.4%(R6)
③管理的職業従事者に占める女性の割合	20.6%(H29)	20.6%(H29年度)	26.5%(R6)

令和2年度改定版前橋市産業振興ビジョン進捗状況一覧

●全体の取組状況

		R3.2
A 概ね順調に進んでいる	・目標達成に向け、順調に推移している	81% (17施策)
B 少し遅れている	・目標達成に向け、取組方針の見直しや改善が求められる	19% (4施策)
C 遅れている	・目標達成に向かっていないため、指標や手段の再検討が必要である	0% (0施策)
合計		21施策

戦略 1 既存産業の総合的・実効的支援

No.	施策の方針	進捗状況
①	中小企業・小規模事業者の資金繰り支援施策の推進	A
②	中小企業・小規模事業者の人材育成支援施策の推進	A
③	中小企業・小規模事業者が新たな販路を開拓するための支援	A
④	事業所の生産性の向上に関する支援	A
⑤	事業所が必要な人材を獲得でき、市民が柔軟かつ意欲的に市内で働ける施策推進	B
⑥	商工会議所・商工会と連携した小規模事業者等の伴走型支援	A
⑦	国や県等の支援メニューを活用した中小企業・小規模事業者の包括的支援	A

戦略 2 各種支援機関等との連携による新製品・新技術の創出

No.	施策の方針	進捗状況
①	各種支援機関等との連携促進による、新たな技術開発の推進	A
②	異業種間連携による、新たな価値を創造できる環境づくり	A
③	新たな商品開発、技術開発支援の推進	A
④	新たな技術、新たな製品の販路拡大に対する支援の推進	A

戦略 3 前橋にマッチした企業立地の促進

No.	施策の方針	進捗状況
①	自然災害が比較的少ない優位性を活かした、首都圏にある企業等のバックアップ機能の誘致促進	B
②	充実した交通網と首都圏からの距離感を活かした物流拠点の立地促進	A
③	豊富な水資源、農畜産物を活かした食料品製造業の立地促進	A
④	市内企業が市内で事業を継続できるように、操業環境、事業の拡張性を確保	A
⑤	新たな産業用地の確保、居抜き物件の紹介等による高度IT化企業を含む進出企業ニーズへの対応	B

戦略 4 起業家の創出と人材育成

No.	施策の方針	進捗状況
①	起業に際しての資金の支援、手続きに関する情報提供、ノウハウの習得の支援	A
②	起業・事業承継に係る支援者(市、金融機関、支援機関等)の有機的な連携	A
③	同業種間、異業種間の起業家の交流を促進、マッチング推進と創業機運醸成支援	B

■ 女性活躍推進計画

No.	施策の方針	進捗状況
①	女性の職業生活における活躍を推進するための支援	A
②	仕事と家庭の両立のための環境の整備について	A

戦略1 既存産業の総合的・実効的支援の進捗状況

単位:千円

1 - ①		施策の方針 中小企業・小規模事業者の資金繰り支援施策の推進				
各個別事業の実績	事業名		H29実績	H30実績	R1実績	R3.2実績
	(1)	小口資金	4,615,344(878件)	3,384,911(745件)	3,423,999(695件)	387,954(94件)
	(2)	経営振興資金	416,402(51件)	314,255(36件)	1,626,955(95件)	20,573,638(1,228件)
	(3)	経営安定資金	143,500(12件)	109,050(9件)	1,504,585(82件)	20,540,550(1,223件)
	(4)	経営力強化支援資金(H28新設)	15,190(2件)	164,704(20件)	126,245(10件)	6,382(2件)
	(5)	短期サポート資金	1,699,381(190件)	1,519,760(155件)	1,138,850(111件)	413,500(30件)
	(6)	季節資金	5,244,070(623件)	4,117,030(503件)	3,072,760(387件)	1,637,520(196件)
	(7)	企業設備資金	52,350(5件)	96,830(8件)	109,530(12件)	20(1件)
進捗状況と今後の方向性		各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する				
○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 多くの企業が打撃を受けたコロナ禍では、経営安定資金の要件を緩和し迅速な対応をおこなったことで、企業の資金繰り支援において、一定の成果を上げることができた。また、利子補給及び保証料補助を実施する等の、より条件の有利な、経営安定資金や群馬県新型コロナウイルス感染症対応資金に借り換える先が多かったため、小口資金をはじめ既存の制度融資の実績は減少している。				
	B 少し遅れている	(※融資実績については、金融機関及び商工会議所からの実績報告データの反映にタイムラグがあるため、R3.1時点での実績値。)				
	C 遅れている					

1 - ②		施策の方針 中小企業・小規模事業者の人材育成支援施策の推進				
各個別事業の実績	事業名		H29実績	H30実績	R1実績	R3.2実績
	(1)	人財スキルアップ補助金	54件	49件	57件	46件
	(2)	就職先の紹介(ジョブセンター)	2,187件	2,332件	2,185件	1,418件
	(3)	就職定着支援(ジョブセンター)	2,181人	1066人	740人	447人
	(4)	中小企業大学校サテライト・ゼミ(H30新)	—	15人	12人	<廃止>
	(5)					
	(6)					
	(7)					
	(8)					
	(9)					
進捗状況と今後の方向性		各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する				
○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 新型コロナウイルスの影響により、職場定着支援講座(前期)や就職支援セミナーの中止により、施設利用者の減少に伴い、就職先の紹介人数や就職定着支援人数も減少した。7月以降、人数制限及び対策を講じながら、定着支援講座やセミナー、交流会等の就職支援事業を実施した。人財スキルアップ補助金については、新型コロナウイルスの影響で資格試験が中止や延期になってしまったという事業者からの意見が多くあったため、ウィズコロナ・アフターコロナ対策として、オンラインセミナーや通信教育についても、継続して積極的に支援していく。				
	B 少し遅れている					
	C 遅れている					

1 - ③		施策の方針 中小企業・小規模事業者が新たな販路を開拓するための支援				
各個別事業の実績	事業名		H29実績	H30実績	R1実績	R3.2実績
	(1)	企業ガイドブックの作成	113社	—	—	—
	(2)	国際見本市各種展示会等出展費補助	29社	36社	34社	17社
	(3)	販路開拓支援補助金	2件	5件	<平成30年度をもって廃止>	—
	(4)					
	(5)					
	(6)					
	(7)					
	(8)					
進捗状況と今後の方向性		各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する				
○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 市内企業の販路拡大を目的とした国際見本市各種展示会等出展費補助金では、展示会出展費にかかる補助を行っているが、今年度については、見本市や各種展示会については開催が自粛される等により例年の半数になったが、オンラインの展示会やオンラインモールへの出店等、新しい販路拡大支援を実施した。引き続き、事業の効果を検証したうえで、効果的な施策展開ができるように各支援機関と連携しながら、販路開拓に意欲的な市内企業を継続して支援していく。				
	B 少し遅れている					
	C 遅れている					

1 - ④

施策の方針		事業所の生産性の向上に関する支援			
各個別事業の実績	事業名	H29実績	H30実績	R1実績	R3.2実績
	(1) 設備投資促進補助金(H30新設)	—	39件	33(うち小規模17件)件	56(うち小規模39件)件
	(2) IT化推進補助金(H30新設)	—	60件	84(うち小規模69件)件	97(うち小規模78件)件
	(3) 先端設備等導入計画(H30新設)	—	62件	84件	58件
	(4) 中小製造業等効率化設備導入補助金(A)	28件	<平成29年度をもって廃止>		
	(5) 中小製造業等効率化設備導入補助金(B)	28件	<平成29年度をもって廃止>		
	(6)				
	(7)				
	(8)				
	(9)				
各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する					
進捗状況と今後の方向性	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 令和2年度の設備投資総額については、以下のとおり。 (1)設備投資促進補助金:148,630千円、(2)IT化推進補助金:55,172千円、(3)先端設備導入計画による投資額:4,353,207千円、なお、令和2年度より設備投資促進補助金及びIT化推進補助金については、採択方法を先着順から抽選に変更し、また、設備投資促進補助金については申請の実績や事業者のニーズに応えるため予算の増額を行った。		
		B 少し遅れている			
		C 遅れている			

1 - ⑤

施策の方針		事業所が必要な人材を獲得でき、市民が柔軟かつ意欲的に市内で働ける施策推進			
各個別事業の実績	事業名	H29実績	H30実績	R1実績	R3.2実績
	(1) 前橋市障害者・ひとり親雇用奨励金	8件	4件	20件	7件
	(2) 前橋市仕事・子育て両立支援奨励金	10件	7件	8件	4件
	(3) 中小企業退職金共済制度等加入促進補助金	421件	423件	440件	447件
	(4) UIJターン若者就職奨励金	37件	34件	22件	8件
	(5) 移住支援金	—	—	0件	2件
	(6) 企業主導型事業所内保育施設設置促進補助金	2件	3件	1件	0件
	(7) 企業ガイドブックの作成(再掲)	113社	—	—	—
	(8) 若者・女性の就職支援(カウンセリング)	1,798人	1,798人	1,801人	1,481人
	(9) 若者・女性の就職支援セミナー	903人	1,049人	662人	199人
	(10) 若者・女性の企業とのマッチング	52人(企業見学)	54人(企業見学)	51人(企業見学)	33人(企業見学)
	(11) 若者・女性の企業へのインターンシップ	17人	22人	23人	14人
	(12) ミライバシ(H30新設)	—	来場者345人	来場者2,185人	来場者1,025人
各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する					
進捗状況と今後の方向性		A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 各補助金・奨励金は概ね前年度並みであるが、UIJターン奨励金は、例年複数人の申請があった企業が今回は1人の申請に止まったことや申請企業数が少なかったことに伴い、例年よりも大幅に減少した。ジョブセンターのカウンセリングはコロナウイルスの影響により減少傾向だったが、7月以降は前年度並みの人数となった。セミナーも5月までは中止、6月以降対策をとりながら実施した。ミライバシは、当初の7月開催を延期し、12月に開催したが、来場者数はコロナ対策で参加高校の数を調整したこともあり前回の半数程度となった。		
	○	B 少し遅れている			
		C 遅れている			

※(1)～(6)企業への経営支援、産業人材の獲得・育成

※(7)～(11)ジョブセンターまえばしにおける若者や女性への就職支援・各種セミナー・企業とのマッチング

施策の方針		商工会議所・商工会と連携した小規模事業者等の伴走型支援				
各個別事業の実績	事業名		H29実績	H30実績	R1実績	R3.2実績
	(1)	小口資金(再掲)	4,615,344(878件)	3,384,911(745件)	3,423,999(695件)	387,954(94件)
	(2)	設備投資促進補助金(H30新設)(再掲)	—	39件	33(うち小規模17件)件	56(うち小規模39件)件
	(3)	IT化推進補助金(H30新設)(再掲)	—	60件	84(うち小規模69件)件	97(うち小規模78件)件
	(4)	御用聞き型企业訪問	63社 205回	70社 188回	77社 220回	59社203回
	(5)	事業継続力強化計画の策定支援	—	—	—	認定19件
	(6)					
	(7)					
	(8)					
	(9)					
各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する						
進捗状況と今後の方向性	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) コロナ禍において緊急経済対策として実施した経営安定資金の利用緩和の影響から、小口資金の利用は減少したが、資金繰り支援としては一定の効果をあげたといえる。各補助金については、半数以上が小規模事業者であり、新たな設備導入や効率化の一助を果たした。御用聞き型企业訪問では、これまで培ったネットワークを活かし、関係支援機関や事業者同士の橋渡しに努めた。今後、事業者がアフターコロナに対応できるよう支援のネットワークを強化していく。			
		B 少し遅れている				
		C 遅れている				

施策の方針		国や県等の支援メニューを活用した中小企業・小規模事業者の包括的支援				
各個別事業の実績	事業名		H29実績	H30実績	R1実績	R3.2実績
	(1)	前橋市ぐまま新技術・新製品開発推進補助金	677(2社)	325(2社)	785(2社)	1,413(4社)
	(2)	御用聞き型企业訪問(再掲)	63社 205回	70社 188回	77社 220回	59社203回
	(3)					
	(4)					
	(5)					
	(6)					
	(7)					
	(8)					
	(9)					
各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する						
進捗状況と今後の方向性	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 群馬県と連携して実施している新技術・新製品開発補助金については、今年度から利用条件を緩和した結果利用拡大につながった。御用聞きでは商工会議所等と連携して実績は順調に推移している。引き続き、国・県や、公財)群馬県産業支援機構、商工会議所、商工会等と密接な連携をとり、中小企業・小規模事業者への支援に努めていく。			
		B 少し遅れている				
		C 遅れている				

施策の方針		新型コロナウイルス感染症対策に関する経済支援				
各個別事業の実績	事業名		H29実績	H30実績	R1実績	R3.2実績
	(1)	経営安定資金(再掲)	143,500(12件)	109,050(9件)	1,504,585(82件)	20,540,550(1,223件)
	(2)	小規模事業者集中支援金	—	—	—	312,100(6,772件)
	(3)	テレワーク環境整備促進補助金	—	—	3,000(3件)	80,451(115件)
	(4)	ニューノーマル創出支援事業補助金	—	—	—	16,064(465件)
	(5)	キッチンカー事業者支援補助金	—	—	—	1,086(21件)
	(6)	プレミアム付商品券	—	—	—	1,910,090(146,930冊)
	(7)					
	(8)					
	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する					
進捗状況と今後の方向性	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 経営安定資金の要件緩和対応や、集中支援金では、新型コロナウイルス感染症で影響を受けた事業者の資金繰り支援を広く実施した。テレワーク補助金については、コロナ禍により在宅勤務やサテライトオフィスを導入する企業が増え、当初予算では足りず、補正にて予算を大幅に追加して実施した。ニューノーマルやキッチンカー補助金は現在受付中。コロナ禍で落ち込んでいる消費を喚起するため実施しているプレミアム付商品券では、地域経済の活性化に繋がっている。			
		B 少し遅れている				
		C 遅れている				

戦略2 各種支援機関等との連携による新製品・新技術の創出の進捗状況

2 - ①		各種支援機関等との連携促進による、新たな技術開発の推進				
		事業名	H29実績	H30実績	R1実績	R3.2実績
各個別事業の実績	(1)	新製品・新技術開発補助金	977(1社)	1,759(4社)	1,441(4社)	5,300(13件)
	(2)	公募型共同研究開発補助金	<(4)へ統合>	—	—	—
	(3)	前橋市ぐんま新技術・新製品開発推進補助金(再掲)	677(2社)	325(2社)	785(2社)	1,413(4社)
	(4)	長期対応型 新製品・新技術開発補助金	17,090(13社)	4,255(6社)	7454(7社)	4,700(4社)
	(5)	共同研究推進補助金(H30新設)	—	731(2社)	741(2社)	<(1)新製品・新技術開発補助金へ統合>
	(6)					
	(7)					
	(8)					
	(9)					
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する					
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 制度の複雑化により、補助金を利用しづらい状況が続いていたが、今年度から製品開発や技術開発にトライする契機となるよう、施策目的を損なわない範囲で利用条件を緩和した。今後も各機関と連携した情報発信に取り組み、技術開発に意欲的な市内企業を継続して支援していく。			
		B 少し遅れている				
		C 遅れている				

2 - ②		異業種間連携による、新たな価値を創造できる環境づくり				
		事業名	H29実績	H30実績	R1実績	R3.2実績
各個別事業の実績	(1)	異業種連携・産学連携支援(団体補助)	1件	1件	1件	1件
	(2)	北関東産官学研究会賛助会費	10	10	10	10
	(3)	産学官金連携推進会議(前橋商工会議所 実施)	後援	共催	共催	開催中止
	(4)	御用聞き型企業訪問(再掲)	63社 205回	70社 188回	77社 220回	56社 178回
	(5)					
	(6)					
	(7)					
	(8)					
	(9)					
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する					
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、産学官金連携推進会議は中止となった。引き続き御用聞き型企業訪問によって企業間連携のマッチング先を模索し、企業間連携によるイノベーションの機運を醸成することで、各企業の自発的な異業種連携・産学連携を後押しする。			
		B 少し遅れている				
		C 遅れている				

※(1)~(2)ものづくり技術力を強化するための異業種連携・産学連携支援

2 - ③		新たな商品開発、技術開発支援の推進				
		事業名	H29実績	H30実績	R1実績	R3.2実績
各個別事業の実績	(1)	企業ガイドブックの作成(再掲)	113社	—	—	—
	(2)	販路開拓支援補助金	2件	5件	<平成30年度をもって廃止>	—
	(3)	御用聞き型企業訪問(再掲)	63社 205回	70社 188回	77社 220回	56社 178回
	(4)	新製品・新技術開発補助金(再掲)	977(1社)	1,759(4社)	1,441(4社)	5,300(13件)
	(5)	前橋市ぐんま新技術・新製品開発推進補助金(再掲)	677(2社)	325(2社)	785(2社)	1,413(4社)
	(6)	長期対応型 新製品・新技術開発補助金(再掲)	17,090(13社)	4,255(6社)	7454(7社)	4,700(4社)
	(7)	共同研究推進補助金(再掲)	—	731(2社)	741(2社)	<(4)新製品・新技術開発補助金へ統合>
	(8)	高度ものづくり技術アドバイザー派遣事業	0件	1件	0件	<令和元年度をもって廃止>
	(9)					
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する					
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) コロナ禍においても新たな取り組みへ挑戦する企業もあり、今後も業種ごと企業ごとの様々なニーズに寄り添った支援体制を維持するため、各種支援機関と連携した新たな製品開発、技術開発支援を進めていく。			
		B 少し遅れている				
		C 遅れている				

※(4)~(5)成長産業への進出支援

施策の方針		新たな技術、新たな製品の販路拡大に対する支援の推進				
各個別事業 の実績	事業名	H29実績	H30実績	R1実績	R3.2実績	
	(1)	前橋市ぐんま新技術・新製品開発推進補助金(再掲)	677(2社)	325(2社)	785(2社)	1,413(4社)
	(2)	異業種連携・産学連携支援(団体補助)(再掲)	1件	1件	1件	1件
	(3)	新製品・新技術開発補助金(再掲)	977(1社)	1,759(4社)	1,441(4社)	5,300(13件)
	(4)	長期対応型 新製品・新技術開発補助金(再掲)	17,090(13社)	4,255(6社)	4,255(6社)	4,700(4社)
	(5)	共同研究推進補助金(再掲)	—	731(2社)	741(2社)	<(3)新製品・新技術開発補助金へ統合>
	(6)	国際見本市各種展示会等出展費補助金(再掲)	29社	36社	34社	17社
	(7)					
	(8)					
	(9)					
進捗状況 と 今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する					
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等)			
		B 少し遅れている	コロナ禍の中で新事業に挑戦する事業者が増えたことや、御用聞き型企業訪問事業の成果で新事業に繋がった案件などで、前年度と比較し順調に推移している。単に優れた技術を開発するだけでなく、競争力をもって市場に求められる製品を開発できるよう、新たな技術や商品の販路開拓に係る支援を強化していく。見本市や各種展示会については開催が自粛される等、例年の半数になったが、オンラインの展示会やオンラインモールへの出店などの新たな販路拡大支援を実施した。			
		C 遅れている				

戦略3 前橋にマッチした企業立地の促進の進捗状況

3 - ①		施策の方針 自然災害が比較的少ない優位性を活かした、首都圏にある企業等のバックアップ機能の誘致促進				
各個別事業の実績	事業名		H29実績	H30実績	R1実績	R3.2実績
	(1)	企業誘致セミナー	30人	—	—	—
	(2)	群馬県「ぐんま企業立地セミナー」への参加等	127人	113人	—	—
	(3)	バックアップ機能誘致推進	—	—	—	—
	(4)	企業立地促進条例に基づく助成	19社	20社	20社	14社
	(5)					
	(6)					
	(7)					
	(8)					
	(9)					
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する					
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 企業の立地に必要な産業用地の確保(3-⑤)に期間を要するため、誘致実績に結び付いていない。昨年度は埼玉県で開催される大規模展示会へ市内企業と一緒に出展したが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により展示会への出展見通しが立たない。今後は、オンライン展示会への出展等を見据え、計画されている新たな産業団地などの情報を効果的に発信するため、 団地案内図 や市ホームページの見直しなどを進めている。			
		B 少し遅れている				
		C 遅れている				

3 - ②		施策の方針 充実した交通網と首都圏からの距離感を活かした物流拠点の立地促進				
各個別事業の実績	事業名		H29実績	H30実績	R1実績	R3.2実績
	(1)	前橋商工会議所と連携した企業誘致活動等	25社	50社	88人	—
	(2)	企業誘致セミナー(再掲)	30人	—	—	—
	(3)	群馬県「ぐんま企業立地セミナー」への参加等(再掲)	127人	113人	—	—
	(4)					
	(5)					
	(6)					
	(7)					
	(8)					
	(9)					
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する					
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 五代南部工業団地(拡張)に進出した2企業が平成30年度中に事業を開始している。前述(3-①)のとおり平成31年度は、埼玉県で開催される大規模展示会へ市内企業と一緒に出展したが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により展示会への出展見通しが立っていない。今後は、オンライン展示会への出展等を見据え、充実した交通網など本市の魅力などの情報を発信するため、 団地案内図 や市ホームページの見直しなどを進めている。			
		B 少し遅れている				
		C 遅れている				

※(1)関係機関と連携した企業誘致活動等

3 - ③		施策の方針 豊富な水資源、農畜産物を活かした食料品製造業の立地促進				
各個別事業の実績	事業名		H29実績	H30実績	R1実績	R3.2実績
	(1)	前橋商工会議所と連携した企業誘致活動等(再掲)	25社	50社	88人	—
	(2)					
	(3)					
	(4)					
	(5)					
	(6)					
	(7)					
	(8)					
	(9)					
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する					
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 五代南部工業団地(拡張)に進出した1企業が平成30年度中に事業を開始している。平成31年度は、前述(3-①)のとおり埼玉県で開催される大規模展示会へ市内企業と一緒に出展したが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により展示会への出展見通しが立っていない。今後は、オンライン展示会への出展等を見据え、豊富な水資源や農畜産物など本市の魅力などの情報を発信するため、 団地案内図 や市ホームページの見直しなどを進めている。			
		B 少し遅れている				
		C 遅れている				

※(1)産業界との連携した企業誘致活動等

3 - ④

施策の方針	市内企業が市内で事業を継続できるように、操業環境、事業の拡張性を確保				
各個別事業の実績	事業名	H29実績	H30実績	R1実績	R3.2実績
	(1) 事業拡張サポート補助金	4社	4社	5社	1社
	(2) 企業立地促進条例に基づく助成等	19社	20社	20社	14社
	(3) 工場立地法に関する規制緩和(市条例)	—	—	—	—
	(4) 環境配慮型企業を支援する補助金	1,203(1件)	《廃止》	《廃止》	《廃止》
	(5)				
	(6)				
	(7)				
	(8)				
	(9)				
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する				
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等)		
		B 少し遅れている	優遇措置指定の企業に助成を行い、企業誘致や事業継続の一助としている。なお、企業の立地手法に則した助成要件の見直しを検討しつつ、引き続き、助成制度を運用していく。		
		C 遅れている			

※(3)~(4)緑地制限の緩和等による工場拡張性の確保等

3 - ⑤

施策の方針	新たな産業用地の確保、居抜き物件の紹介等による高度IT化企業を含む進出企業ニーズへの対応				
各個別事業の実績	事業名	H29実績	H30実績	R1実績	R3.2実績
	(1) 新たな産業用地の選定及び開発	3件	0件	0件	0件
	(2) 企業誘致促進資金融資	0件	0件	0件	0件
	(3) 企業進出ニーズにこたえた産業用地の確保	0件	0件	0件	0件
	(4) 居抜き物件の紹介	0件	25件(更地含む)	6件(更地含む)	3件(更地含む)
	(5)				
	(6)				
	(7)				
	(8)				
	(9)				
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する				
		A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等)		
	○	B 少し遅れている	H29で五代南部工業団地(拡張)は完売となったため、市で所有する産業用地がなくなっており、新たな産業用地の確保を目指し、事務を進めている。産業団地造成で必須となる市街化区域編入手続きのスケジュール上、目標のとおり今年度までに整備完了とはならないが、予定している2計画地のうち、西善中内地区は令和3年度初旬の公募開始に向け、準備を進めている。また、駒寄スマートIC周辺地区については、昨年度から引き続き産業団地造成のための環境影響評価業務を行っている。		
		C 遅れている			

戦略4 起業家の創出と人材育成の進捗状況

4 - ①		単位:千円				
施策の方針		起業に際しての資金の支援、手続きに関する情報提供、ノウハウの習得の支援				
各個別事業の実績	事業名		H29実績	H30実績	R1実績	R3.2実績
	(1)	創業に関する相談窓口の設置	288件	370件	509件	496件
	(2)	創業支援塾の開催	53人	33人	23人	10人
	(3)	創業支援コンサルティング	13件	21件	8件	8件
	(4)	起業家独立開業支援資金	335,880(48件)	174,600(27件)	321,532(40件)	163,850(30件)
	(5)	創業サポート総合制度	新規20件 コンサル163件 利子補給73件 保証料補助57件	新規23件 コンサル132件 利子補給65件 保証料補助45件	新規26件 コンサル118件 利子補給59件 保証料補助47件	新規22件 コンサル127件 利子補給66件 保証料補助54件
	(6)	スタートアップオフィス支援補助金	—	—	—	5件
	(7)	まちなか店舗等開業支援事業補助金	7件	11件	17件	20件
	(8)	まちなか低未利用地等活用促進事業補助金	0件	1件	0件	0件
	(9)	まちなか店舗事業承継支援補助金	—	3件	1件	3件
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する					
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済活動全体の停滞している中で、令和2年度後半に関しては創業相談及び各支援事業の利用が伸びた。しかしながら、負担を少しでも軽減させるために支援を受けたいという相談が多いため、引き続き起業家を取り巻く環境は厳しいものであると認識している。本市においては、各種支援制度利用について積極的な情報提供を行いながら、起業家の負担軽減を図ることに重点を置いていく。			
		B 少し遅れている				
		C 遅れている				

4 - ②						
施策の方針		起業・事業承継に係る支援者(市、金融機関、支援機関等)の有機的な連携				
各個別事業の実績	事業名		H29実績	H30実績	R1実績	R3.2実績
	(1)	前橋市創業センターの運営	17人入居	21人入居	26人入居	29人入居
	(2)	創業センターのセミナー	329人	373人	684人	111人
	(3)	事業承継マッチング事業(創業センター)	0件	1件	1件	1件
	(4)	まえばし創業支援ネットワーク	33件	27件	31件	6件
	(5)	金融機関との地域包括協定	2件	3件	3件	3件
	(6)	前橋商工会議所 創業スクール	22人	22人	22人	12人
	(7)	東和銀行・3大学 創業スクール	31人	28人	29人	33人
	(8)	ぐんま創業スクール	—	—	—	92人
	(9)					
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する					
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 前橋市創業センターを核として、支援機関との連携強化及び新規事業創出を図り、創業者に対して一層の支援拡充を行っている。本年度は新型コロナウイルス感染症拡大によって連携事業についても実施時期や方法を見直すなどの影響が出ている。事業承継については、市単独で取り組むのではなく、セミナーによる啓発や創業及び廃業希望者のマッチングや支援機関のネットワーク事業と連携を図りながら支援を行っていく。			
		B 少し遅れている				
		C 遅れている				

4 - ③						
施策の方針		同業種間、異業種間の起業家の交流を促進、マッチング推進と創業機運醸成支援				
各個別事業の実績	事業名		H29実績	H30実績	R1実績	R3.2実績
	(1)	起業家交流会	41人	35人	48人	中止
	(2)	創業センターのセミナー(再掲)	329人	373人	684人	111人
	(3)	こども起業塾	22人	19人	18人	中止
	(4)	起業の魅力発信事業(動画製作)	出演6人	動画再生2,764回	動画再生3,053回	動画再生3,202回
	(5)					
	(6)					
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する					
		A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等) 創業無関心層に対して創業への興味を抱かせる創業機運醸成事業が、国・県で重視されている。この中で、本市においても創業の魅力発信・機運醸成に係る事業を創業支援等事業計画に位置付け取り組んでいる。本年度については新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、各イベントの開催が中止せざるを得ない状況であるため、進捗がほとんどない状況である。今後は、創業に関する情報提供を積極的に行うなど、手法を見直しつつ事業の展開を図ってまいりたい。			
	○	B 少し遅れている				
		C 遅れている				

■ 女性活躍推進計画の進捗状況

■ - ①		単位:千円				
施策の方針	女性の職業生活における活躍を推進するための支援					
各個別事業の実績	事業名	H29実績	H30実績	R1実績	R3.2実績	
	(1) 前橋市障害者・ひとり親雇用奨励金(再掲)	8件	4件	20件	7件	
	(2) 若者・女性の就職支援(カウンセリング)(再掲)	1,798人	1,798人	1,801人	1,481人	
	(3) 企業とのマッチング(再掲)	52人(企業見学)	54人(企業見学)	51人(企業見学)	33人(企業見学)	
	(4) 若者・女性の就職支援セミナー(再掲)	903人	1,049人	662人	199人	
	(5) 就職面接会等による就職支援	就職44人	就職46人	就職36人	2/9実施(参加者36人)	
	(6) 就職定着支援(ジョブセンター)(再掲)	2,181人	1,066人	740人	447人	
	(7) 介護職員初任者研修講座	18人	12人	9人	9人	
	(8) 女性の起業セミナー	46人	96人	85人	14人	
	(9)					
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する					
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等)			
		B 少し遅れている	ジョブセンターの就職支援事業は概ね順調に実施されているが、新型コロナウイルスの影響による施設利用者の減少に伴い、各種支援事業の利用者も減少した。7月以降は、対策を講じながら、カウンセリングやセミナーなど実施した。例年2回実施している就職面接会は、規模を縮小し1回の開催となった。介護初任者研修の受講者は減少傾向のため、事業継続の必要性を検討する。			
		C 遅れている				

■ - ②		単位:千円				
施策の方針	仕事と家庭の両立のための環境の整備について					
各個別事業の実績	事業名	H29実績	H30実績	R1実績	R3.2実績	
	(1) 前橋市仕事・子育て両立支援奨励金(再掲)	10件	7件	8件	4件	
	(2) 企業主導型事業所内保育施設設置促進補助金(再掲)	2件	3件	1件	0件	
	(3) 保育サービスの充実(福祉部)	91.3%	99.0%	99.0%	《年度末までに実施》	
	(4) 放課後児童クラブの拡充(福祉部)	64ヶ所	71ヶ所	71ヶ所	78ヶ所	
	(5) 働く女性に関する法令等の普及・啓発等	《随時実施》	《随時実施》	《随時実施》	《随時実施》	
	(6) テレワーク環境整備促進補助金(再掲)	—	—	3,000(3件)	80,451(115件)	
	(7)					
	(8)					
	(9)					
進捗状況と今後の方向性	各事業の取組状況の推移を踏まえ、総合的な進捗状況を判断する					
	○	A 概ね順調に進んでいる	(理由、今後の方向性、補足説明等)			
		B 少し遅れている	奨励金の活用や事業所内保育施設の新設など、市内企業の両立支援に対する取組みが広がってきている。企業主導型事業所内保育施設設置促進補助金は、国の企業主導型保育事業の先行きが未確定であることに加え、これまで多くの補助を行い、その後補助金活用の相談を1年以上受けていない状況であることから、補助制度として一定の役割を果たしたと判断し、廃止した。放課後児童クラブは拡充されているものの、働く意欲がある保護者の増加に伴い依然として保育環境の充実が求められていることから、引き続き受入先の整備を行っていく。また、テレワークを導入する企業に対して補助を行うことで、在宅勤務環境の整備を促した。			
		C 遅れている				